

明石市立総合福祉センター 新館 オープン!!

喫茶・軽食コーナーができました!
みんなで楽しく使える交流スペースです。



多目的ホールでは、障がい者スポーツの体験を通じて交流ができます!



障がい者スポーツ いろいろ!

インストラクターもついてます!



開館日：月曜日から土曜日 午前9：00から午後9：00まで
日曜日・祝日 午前9：00から午後5：00まで
※喫茶・軽食は土・日・祝日を除く午前10：00から午後4：00まで
場 所：明石市貴崎1丁目5-46 (明石市立総合福祉センター 西隣)

【問 合 せ】 明石市立総合福祉センター新館 ☎ 927-1125 FAX 927-1126
【体験の申込み】 明石市立総合福祉センター ☎ 918-5660 FAX 918-5661

ボランティア養成講座のご案内

本会では、ボランティア活動に関心のある方を対象に下記のようなボランティア養成講座を開催しています。養成講座を受講することで気軽にボランティア体験ができ、また活動に入る前のイメージ固めをすることができます。

ボランティア活動に関心のある方、気軽にお問合せください!!

講座名	日時	回数	内容	申込開始日
外出支援ボランティア養成講座(ガイドヘルプコース)	6/11~6/25 10:00~12:00	毎週火曜日 (3回)	視覚障がい者のガイドヘルプ、身体の不自由な方や高齢者の車いす介助など、外出時の介助方法について学びます。	5/7 (火)
外出支援ボランティア養成講座(車いすコース)	9/10~9/24 10:00~12:00	毎週火曜日 (3回)		8/1 (木)
夏休み親子手話教室	8/3~8/24 10:00~11:30	毎週土曜日 (4回)	親子で自己紹介や簡単な手話を学び、伝え合う楽しさを体験します。	7/1 (月)
友愛朗読ボランティア養成講座	10/4~11/1 13:30~15:30	毎週金曜日 (5回)	朗読に必要な技術を習得し、高齢者施設等に出向き、対面朗読を通じて「一緒に声を出して読む楽しさ」の基本的な技術を学びます。	9/2 (月)
点訳ボランティア養成講座	2020年1/22~3/11 10:00~12:00	毎週水曜日 (8回)	視覚障がいへの理解を深めるとともに、点字の基礎知識を学びます。	12/16 (月)
ミニミニ手話講座	2020年2/1~2/29 10:00~11:30	毎週土曜日 (5回)	コミュニケーション方法の一つである手話を体験し、聴覚障がい者への理解を学びます。	1/6 (月)
入門講座 はじめての要約筆記	2020年2/14~3/6 13:00~15:30	毎週金曜日 (4回)	聴覚障がいへの理解を深めるとともに、その場で音声文字にして情報を提供するコミュニケーション技術を学びます。	1/6 (月)
その他	随時	-	※上記の講座以外にも企画される場合があります。	-

※講座の内容や日時等については、現時点での予定です。

【申込み・問合せ】 地域支援課 地域福祉係 ☎924-9105 FAX924-9109

第3回

2019年3月2日(土) 10:30~15:00 in あかし市民広場



あかし赤い羽根共同募金フェア開催報告



あかはねちゃんサポーターのみなさん

【参加人数】

- ・スタッフ 17名
- ・135Eネット 38名
- ・あかはねちゃんサポーター 46名
(内訳 高校生:34名、大学生3名、プリティ・エンゼル9名)
- ・一般来場者 約1,000名

【内容】

- ① あかはねちゃんサポーターによるフェアの司会・進行
- ② 赤い羽根共同募金に関するパネル展示とクイズラリー
- ③ あかはねちゃん、パパたことの触れ合い
- ④ 明石障がい者地域生活ケアネットワーク所属事業所(135Eネット)による物品などの販売
- ⑤ 街頭募金、街頭啓発、フェアの啓発
- ⑥ くじ引き
- ⑦ ミニ卸売市場(明石卸売市場直送野菜の販売)
- ⑧ プリティ・エンゼルによるダンスステージ ...など

あかはねちゃんサポーターによるプロ顔負けの司会進行やプリティ・エンゼルの可愛らしいダンスに会場は大盛り上がりでした。

今回集まった募金は全部で

31,216円

だったよ!



プリティ・エンゼルのみなさん
withあかはねちゃんサポーター司会班



明石市基幹相談支援センターより



「障がいのある方のためのあかし就労支援 サポートブック」 を作成しました！！

明石市地域自立支援協議会しごと部会は、障がいのある方達の「しごと」「はたらくこと」に関するテーマを幅広く取り扱い、現状を把握し、課題の解決に向け取り組んでいます。

- あかし就労支援サポートブックは、
- “障がいがあっても社会で働きたい！”
- “働く準備をするための「就労移行支援事業所」ってどこにあるんだろう？
どんなことをするんだろう？”
- “就職した後も応援してくれるんだろうか？”

そんな声にお答えして、必要な情報をわかりやすくまとめました。

将来就職を考えている方、就労移行支援事業所の利用を考えている方や関係機関の方々に広くご活用いただければ幸いです。

サポートブックは、明石市基幹相談支援センターなどで配布しています。

【問合せ】 明石市基幹相談支援センター
 ☎924-9155 FAX924-9134
 明石市地域自立支援協議会のホームページ
<http://www.akashi-jiritsushien.jp>



地域総合支援センターからのお知らせ

魚住ではじまった!

認知症の人をつつむまちづくり

「当事者に学び共に築くまちづくり」という副題で、若年性認知症の方の介護者家族お迎えし、ご本人が認知症になっても豊かな心で家族を思っておられた話をお聞きました。

認知症の人をつつむまちづくり
主催 明石市社会福祉協議会
川松子氏

自分らしく、
おだやかに

いつまでも料理を
作りたい

笑って過ごしたい

わからなくなったら
施設かな…

2 と き：2019年3月8日
ところ：魚住市民センター

あなたのまちの相談窓口

【連絡先：各総合支援センター】

- | | |
|---------------------|----------------------|
| あさぎり・おおくら ☎915-0091 | きんじょう・きぬがわ ☎915-2631 |
| にしあかし ☎924-9113 | おおくぼ ☎934-8986 |
| うおずみ ☎948-5081 | ふたみ ☎945-3170 |

各総合支援センターでは、保健師・看護師、社会福祉士、主任ケアマネジャーといった専門職が皆さんの様々なご相談をお受けします。
また、住民の支え合いを推進する生活支援コーディネーターが中心となり専門職らと共に、明石の福祉の向上を目指し皆さんと共に活動します。



2019年度 明石市社会福祉協議会事業計画及び予算

基本理念

それぞれの地域が、それぞれの特色を活かした方法で、「誰もが安心して住み続けることができる地域づくり-地域共生社会の実現-」に取り組もう

基本方針

- (1) 住民主体で地域の福祉力・地域力を高め、活動の活性化を図る
- (2) 人のつながりに支えられた地域の安全・安心の充実を図る
- (3) 総合的且つ包括的相談支援体制の強化を進める

施策

- (1) 地区社会福祉協議会の活動支援
- (2) 住民の力を引き出すしくみづくり
- (3) フォーマル・インフォーマルな福祉的サービスの推進
- (4) 市社協の体制強化

本年度の重点的な取り組み

1. 広報力の強化による市社協活動のPR推進

「市社協」の認知度を高めるために「広報チーム」を立ち上げ、広報紙・ホームページを活用して市社協全体で有益な情報を発信できるよう取り組む。

2. 社協正規職員を中心とした組織・体制づくり

組織の強化及び活性化を図り、正規職員を中心とした組織体制の構築を目指すため、計画的な職員採用・体系化された研修を実施するとともに、人事考課制度の導入に向けた検討を進める。

3. 明石市社会福祉法人連絡協議会における災害支援、総合相談等の推進

市社協が持つ地域ニーズを共有し、各法人・施設との連携による災害支援・総合相談機能の強化を図り地域貢献を進めていく。

4. (仮称) 明石市立総合福祉センター新館の利活用【新規】

すべての市民が包摂的に共存する「インクルーシブ」の理念にのっとり、共生社会の具現化に向けた取組みの核となる施設として、隣接する明石市立総合福祉センターと一体的に運用し、さらなる地域福祉の充実と障がい者理解の促進を目指す。

5. (仮称) 総合福祉センターフェスタの開催【新規】

明石市立総合福祉センターの施設・活動及び総合相談窓口や市社協の事業等を積極的に紹介する場として、また障がい体験等の機会を提供するイベントとして開催を計画する。

6. 第12回あかしボランティアフェスタの開催

市民により広くボランティア活動を紹介するため、会場をあかし市民広場（パピオスあかし）に移し、リニューアルしたフェスタとして開催する。

7. 新たな担い手づくりの推進

ボランティア連絡会のグループ数及びボランティア数が高齢化等により年々減少している。また、地域において後継者不足が叫ばれる中、新たな担い手づくりとしてボランティア育成アドバイザーやボランティアサポーターと連携し、より効果的な取組みを行うほか、ボランティア活動の枠にとらわれない新たな地域活動者の発見・育成につながるよう取り組む。

8. 明石市社会福祉協議会訪問介護事業所の閉所について

1991年度（平成3年度）から行ってきた訪問介護事業について、職員数（パートホームヘルパー）の減少などに伴い質の良いサービス提供が困難になっているため、本年度をもって閉所に向けた準備を進めていく。閉所にあたっては、サービス利用をされている高齢者・障がい者の方々から支障をきたさないよう、本年度中に他の事業所でのサービスが継続できるように移行支援を行う。

9. 地域総合支援センターのさらなる周知及び関係機関等との連携強化

地域住民の身近な相談窓口としての信頼を高めるため、広報等により役割を積極的にPRするとともに、相談支援体制強化に向けた行政や関係機関等との連携及び市社協内部の体制強化に努める。

10. 認知症にやさしいまちづくりの推進

これまで実施してきた認知症ケアについて、行政との連携を強化することにより認知症の理解の促進や個別支援の充実を図る。

11. 後見基金を活用する後見基金事業の運用開始【新規】

後見基金事業の運用開始にあたり、要領を定めて、後見支援の目的のために後見基金を財源として、法人後見及び市民後見人の活動、センターが関わる対象者へ支給及び貸付を行う。

12. 更生支援の相談支援体制の充実

「明石市更生支援及び再犯防止等に関する条例」が2019年4月1日から施行されることにもない、弁護士職員と社会福祉士職員の連携支援となる更生支援コーディネートをはじめとする相談支援体制の充実を図る。

13. 福祉人材の確保及び障がい福祉事業所のさらなる支援力向上

福祉の人材不足が叫ばれるなか、障がい福祉に携わる人材の育成や定着に寄与するため、明石市地域自立支援協議会として人材育成チームを立ち上げる。自立支援協議会運営会議事務局として、障がい福祉に従事する際の基本事項を習得するための研修内容や実施方法を検討する。

2019年度 事業活動資金収支予算

(単位：千円)

勘定科目		金額	
事業活動	収入	会費収入	11,510 1.14%
		寄附金収入	1,030 0.10%
		経常経費補助金収入	136,344 13.48%
		受託金収入	223,455 22.09%
		貸付事業収入	7,000 0.69%
		事業収入	2,603 0.26%
		介護保険収入	595,229 58.84%
		障害福祉サービス等事業収入	33,996 3.36%
		受取利息配当金収入	126 0.01%
		その他の収入	343 0.03%
		合計	1,011,636 100.0%
		事業活動	支出
事業費支出	124,578 11.8%		
事務費支出	69,971 6.7%		
貸付事業支出	7,000 0.7%		
助成金支出	32,364 3.1%		
負担金支出	0 0.0%		
その他の支出	0 0.0%		
合計	1,046,625 100.0%		
事業活動資金収支差額		△ 34,989	—

(経理区分間繰入金収入・支出を除く)

2019年度 拠点区分別資金予算(支出)

(単位：千円)

費用		経常支出
社会福祉事業	法人運営事業拠点区分	160,323
	地域・ボランティア活動事業拠点区分	24,929
	共同募金配分金事業拠点区分	15,932
	介護保険事業等拠点区分	44,276
	基幹相談支援センター拠点区分	55,536
	後見支援センター拠点区分	61,808
	地域活動支援センター事業拠点区分	23,084
	総合福祉センター管理運営事業拠点区分	77,716
公益事業	総合福祉センター新館管理運営事業拠点区分	25,000
	地域総合支援センター事業拠点区分	558,021
	合計	1,046,625

(経理区分間繰入金支出を除く)



